

第 7 回 下野市ごみ処理施設（リサイクルセンター）

建設候補地検討委員会

【 議 事 要 旨 】

開会

前回議事の確認

- ・ 議事内容の説明
異議なし（委員）

第 7 回検討委員会の検討テーマの確認

- ・ 検討テーマの説明
異議なし（委員）

1 次評価結果の確認

- ・ 人口密度の評価基準値の設定方法はどのように設定したのか。
人口は国勢調査（平成 17 年度）のメッシュ人口を用い、候補地間での中間値を基準としている。代表区画で分割された場合は掛かっている割合により按分している。
（事務局）
- ・ 医療施設との位置関係は、事務局の不手際により前回の資料に評価項目として入れ忘れていた。委員からも医療施設との距離等に関するご発言があり、委員及び事務局は共に当然評価項目に入っている認識であった。そのため、1 次評価では医療施設との位置関係を入れて評価している。（事務局）
了承する。（委員）
- ・ 候補地ごとに別表 1 の採点内容を確認。（委員長、委員）
- ・ N033 は、住宅群との距離が 300m 圏内と判定されているが、図面上では確認ができないように思われる。（委員）
図面左上の住宅と道路挟んだ住宅は 20m と以内のため、住宅との距離は厳しく判定し、住宅群と判断した。委員の意見により住宅群をはずしても良い。このままでよいか。（事務局）
良い。（委員）
- ・ 前回の委員会では、医療施設等 300m はすべて敷地からの距離で評価すると説明した。しかし、図面を再度精査した結果、病院に併設した住宅などがある場合があり、敷地で考えた場合に、明確な基準を保てないため、300m 圏内という判定はすべて建物から

の距離とした。(事務局)

- ・点数に関しては事務局案のとおりで良いか。(委員長)
異議なし(委員)
- ・8箇所を2次評価の候補地としてよいか。あくまでこれは一次評価の結果だけなので、このなかから2次評価で検討する。さらに、現地を視察したうえで、委員会の最終結論を出す予定となっている。(委員長)
異議なし(委員)
- ・次点(12点)が8箇所ある。このなかで残すべきと思う候補地区があるか。(委員長)
N016は残しても良いのではないか。(委員)
人口密度が高い地域でもあり、次点にも満たない。次点以降のところは選ぶ理由が難しく、客観性がなくなる恐れがある。また、医療施設の敷地内であり、建設は難しいと考える。(委員)
N012は残しても良いのではないか。(委員)
医療施設に近く、建設に望ましい場所ではないと思われる。(委員)
13点以上の得点を獲得した8箇所で2次評価以降を進めることとしてよいか。(委員長)
異議なし(委員)

2次評価項目・評価基準の検討

- ・小山広域の委員会が終了し、建て替えを含めた敷地があると望ましいとの結論を得ている。その広さは2ha以上となっているが、2次評価の条件では、より広く確保できることが望ましいとした。(事務局)
- ・観光資源との距離が遠い、近いなどの定性的な項目は距離等の中間値により と の数が同じになるようにし、相対評価としている。(事務局)
- ・雪崩危険箇所の指定等は下野市には該当しないのではないかと。評価項目として挙げる必要があるのか。(委員)
雪崩危険箇所の指定等はないかもしれないが、確認しておくことが必要だと考える。特に下野市以外の外部の方が選定過程を見た場合に、地域の事情を知らない方でも納得できる客観的な方法が必要だと考える。(委員長)
- ・河川に挟まれた場所などは何か評価項目はないのか。(委員)
下野市はハザードマップを作成されていますか？災害などの対する範囲等を示されていますので、参考にしてください。(委員長)
ハザードマップを作成していますので、確認します。(事務局)
- ・土地利用の自由度で、小山広域では2ha確保してほしいとのことだったが、リサイクル施設の建て替え用地だけで、焼却施設等の用地ではないのか再度確認したい。(委員)
建て替え用地はリサイクル施設の用途です。(事務局)

- ・小山広域は 2ha 程度との結論とのことだが、市としてはどれぐらいの用地取得を考えているのか。(委員)
土地の形状も見て、最終的には決定する必要がある。真四角であれば 2ha 程度でよいが、形状によってはそれ以上の面積も必要ではないかと考えている。(事務局)
- ・工業用途を評価しているが、建てやすいという意味で優位にしているのか。(委員)
リサイクル施設は都市計画法上の都市施設(都市に必要な施設)であり、都市計画法の観点とリサイクル施設の性格を勘案し、工業用途を優位とした。(事務局)
- ・1次評価の評価項目では、教育施設との距離が入っている。2次評価では、生活道路を通らないという項目があるが、これは学校へ向かう道路(スクールゾーン)を示しているのか。(委員)
生活道路では判断していない。あくまで搬入道路の状況により、生活道路を通行する可能性を減らすという観点から、評価している。(事務局)
スクールゾーンなどは、学校単位で決められており、現地調査等をしないと分からない。皆さんの現地調査が必要になる。ここまでの評価では、基準のあるものを客観的に判断することが重要だと考える。(委員長)
- ・2次評価をするときは、代表区画で評価するということでよいか。(委員)
そのように考えている。(事務局)
- ・2次評価の評価項目・評価基準は、16項目の内容としてよいか。(委員長)
異議なし(委員)

その他

- ・今後の委員会議題(案)の説明
- ・次回第8回委員会は1月25日(月)14:00からとする。会議場所は国分寺庁舎3F会議室とする。(事務局)

閉会

以上